

No.15 単元計画・学習指導案例（7）（西条農業高等学校）

コミュニケーション能力を育むことを目指した教科学習の系統性

国語科（古典講読） 単元「随筆（枕草子）」

【西条農業高等学校畜産科第2学年】

時期	学校行事等	教科等	総合的な学習の時間 (農業「課題研究」に代替)	特別活動 (学校行事を除く)
8月	単元「インターンシップ報告会」 ※ねらい:体験を通じた職業観や勤労観を振り返り,その定着や深化を図る。 【ア】:自分の考えを場に応じた適切な形で表現できる。	教科「農業」 科目「課題研究」 単元「調査・研究・実験」 ※ねらい:小学生対象の農業体験プログラムを作成し,その効果を検証する。 【ア】:リーダー・フォロアーシップを発揮して,相手の能力を引き出し,チームワークを高める。		単元「キャリア体験報告会」 ※ねらい:インターンシップの体験を通じた職業観や勤労観を振り返り,その定着や深化を図る。 【ア】:自分の考えを場に応じた適切な形で表現できる。
9月				
10月	文化祭 ※ねらい:学習の成果発表を通して,一人一人の創造性や協力性を培う 【ア】:互いに支え合い分かり合える友人を得る。	教科「理科」 科目「生物Ⅱ」 単元「課題研究」 ※ねらい:課題を設定し,実験などの研究を通して,生物学的に探究する方法や問題解決の能力を身に付けさせる。 【ア】:研究の内容を分かりやすく表現することができる。		
11月			単元「先輩に学ぶ」 ※ねらい:就職や進学をした先輩の体験を聞いて社会人として必要な資質について学ぶとともに,意見交換を通じて進路実現のための情報を得る。 【ア】:適切なコミュニケーションを図り,他者の考えを聞いて理解する。	進路面接Ⅰ ※進路希望調査に基づいた面接の実施
12月		教科「国語」 科目「古典講読」 単元「随筆（枕草子）」 ※ねらい:語句の意味,用法を理解し,その特有の表現を味わう。 【ア】:自分の考えを分かりやすく他者に伝え,他者からの考えを聞いて理解する。		
1月				
2月		教科「農業」 科目「課題研究」 単元「実践発表」 ※ねらい:小学生対象の農業体験プログラムの実践を振り返り,その成果,課題及び今後の方向性等を葉票する。 【ア】:自分の考えを場に応じた適切な形で分かりやすく表現することができる。		
3月				

図中の単元をつなぐ太い直線は,本単元で身に付けさせたいコミュニケーション能力の系統性を示しています。

※図中の【ア,イ,ウ,エ】はそれぞれ【ア】人間関係形成能力,【イ】情報活用能力,【ウ】将来設計能力,【エ】意思決定能力を示しています。

事前・事後の指導における系統性をもった教科学習の授業実践例(高等学校)

コミュニケーション能力育成の視点を取り入れた授業

国語科(古典講読) 単元「随筆(枕草子)」

【西条農業高等学校畜産科第2学年】

キャリア教育の視点に立った指導の工夫

- この学習の前に、小学生や中学生との交流学习を行い、異年齢間のコミュニケーションを図ってきた。本教科を通して、この交流学习を通じて身に付けたコミュニケーション能力をさらに高めている。
- 本時では、コミュニケーション能力を育成するため、グループ学習を取り入れ、自分の考えを書いたカードを用いて整理することにより、考えを分かりやすく伝える指導を工夫をしている。

1 学年 第2学年

2 科目名・単元名 「古典講読」・随筆(枕草子「中納言参り給ひて」)

3 単元(題材)の目標

- 文節や語句等、意味のまとまりを意識しながら、音読する。
- 語意を文脈に即して類推することで、語の意味や用法についての理解を深める。
- 筆者の思想や価値観を示す語句を指摘し、その内容を理解する。
- 自分の考えを分かりやすく他者に伝え、他者からの考えを聞いて理解する。【コミュニケーション能力】

ゴシック体の部分は、
キャリア教育の視点
を示しています。

4 指導と評価の計画(全4時間)

次	学習内容 (時数)	評 価				評価方法
		関	考	表	知	
1	音読, 構成 の確認(1)				○	・ 文節や語句等、意味のまとまりを意識しながら、音読することができる。 観察法(発言)
2	語句の意味 の考察(2) 本時	○		○	○	・ 語意を文脈に即して類推したりすることで、主題を的確にとらえることができる。 ・ 語句の意味、用法について、正しく理解することができる。 ・ 自分の考えを分かりやすく他者に示し、他者の考えを聞いて理解することができる。 【コミュニケーション能力】 観察法(発言) 作品法(ワークシート)
3	読み取り (1)			○		・ 筆者の思想や価値観を示す語句を指摘し、その内容を理解することができる。 観察法(発言)

5 本時の目標

- 語意を文脈に即して類推することで、語の意味や用法についての理解を深める。
- 語句の意味、用法について、正しく理解する。
- 自分の考えを分かりやすく他者に伝え、他者の考えを聞いて的確に理解する。

【コミュニケーション能力】

6 本時の指導過程（2時間連続による指導過程の授業である。）

過程	学習活動	指導上の留意点	評価規準（評価方法） 【キャリア教育の視点】
導入	<ul style="list-style-type: none"> ○ 前時の授業を想起する。 ○ 本時の目標及び学習内容、学習方法を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本時の目標について板書する。 ・ 前時に行ったグループ分けを確認させる。 	
展開	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「枕草子」の章段「かたはらいたきもの」を紹介し、その中に出てくる事例を整理する。 ○ 文章中の事例から言葉の意味を予想しカードに記入する。 ○ KJ法を用いてグループ協議を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 個人の考えをカードを示し発表し合う。 ・ グループの考えをまとめる。 ・ グループ内でまとめた言葉の意味の妥当性について協議する。（「中納言参り給ひて」に当てはめてみる。） ○ グループごとに発表する。 ○ 辞書を用いて語意（「かたはらいたし」）の確認をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本文中において、筆者が「かたはらいたし」と感じている事柄について下線を引かせる。 ・ 事例から、「かたはらいたし」という言葉の意味を予想させることで、筆者のものの感じ方や価値などを把握させることにつなげる。 ・ 以前、他の教科（農業）の授業で行ったKJ法を想起させる。 ・ 発表の際、まず結論を述べ、次にその理由を2～3点あげて述べる発表の型に留意させる。 ・ 協議が進んでいないグループについては机間指導を行い詳しく説明する。 ・ グループで想像した言葉の意味について、「中納言参り給ひて」をヒントにグループの結論をまとめさせる。 ・ 聞き手に分かりやすく説明するため、根拠を明確にした発表に対して形成的評価を行い、分かりやすい説明の方法に気付かせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 語意を文脈に即して類推することで、語の意味や用法についての理解を深めることができる。 (観察法, 作品法) ○ 自分の考えを分かりやすく他者に伝え、他者の考えを聞いて理解することができる。 【コミュニケーション能力】 (観察法, 作品法) ○ 語句の意味、用法について、正しく理解することができる。 (観察法, 作品法)
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本時のまとめを行う。 ○ 次時の学習を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次時は、筆者の価値観などを示す語句を探して、グループ学習を行うことを告げる。 	